

■有漢町の沿革

承久3年、相模国三浦氏の一族 秋庭三郎重信が戦功によって備中の国、有漢郷を賜り、有漢城下の台ヶ鼻（だいがはな）に築城し、地頭としてこの地を支配した。この秋庭氏は仁治元年大松山に松山城を築き、以来この松山城主の多くは、この有漢郷を支配するようになった。

その後約600年の歳月を経て、明治維新をむかえ明治4年深津県、同5年小田県、そして明治8年岡山県になり、有漢村、上有漢村が発足し、昭和31年4月両村が合併して、有漢町が誕生した。

その後、平成16年10月に高梁市、有漢町、成羽町、川上町、備中町の1市4町が合併し、高梁市有漢町となった。

長代村	上有漢村 (明治8年)	有漢町 (昭和31年)	高梁市 (平成16年)
川関村			
垣村			
上村	有漢村 (明治8年)		
中村			
下村			
		高梁市	
		成羽町	
		川上町	
		備中町	